

特定廃棄物埋立処分施設の状況確認の実施結果

1 概要

調査日時	令和6年11月21日13時00分 ~ 14時40分
------	---------------------------

2 調査事項（各法令等の基準に基づき福島県が選定）

（1）放射性物質汚染対処特措法に基づく特定廃棄物の埋立処分基準（10万 Bq/kg 以下）



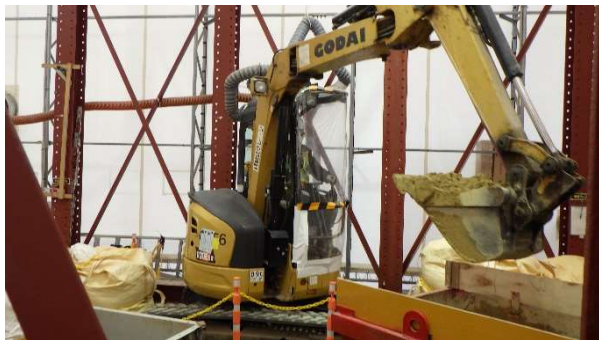

調査事項	要求事項		特記事項
	無	有	
1 埋立処分の方法 - 飛散・流出の防止 - 悪臭・騒音・振動の防止 - 外周囲い、処分場所の表示 - 分散しない埋立	■	<input type="checkbox"/>	
2 最終処分場の敷地の境界において、放射線の量を7日に1回以上測定・記録	■	<input type="checkbox"/>	
3 ねずみ・蚊・はえ・その他の害虫の発生防止	■	<input type="checkbox"/>	
4 生活環境保全上の必要な措置	■	<input type="checkbox"/>	
5 廃酸・廃アルカリの埋立処分の禁止	■	<input type="checkbox"/>	
6 公共用水域と遮断されている場所以外での埋立処分の方法 - 埋立場所に厚さ 50cm 以上の土壌層の敷設	■	<input type="checkbox"/>	
Cs137 溶出量 150Bq/L 超 - セメント等による固型化 - 損傷しにくい容器への収納（固型化後） - 不透水性土壌層の敷設（下面・側面・表面） ※表面敷設までの間は一日の作業終了時に遮水シートによる被覆	■	<input type="checkbox"/>	
Cs137 溶出量 150Bq/L 以下 - 埋立厚さ 3m ごとに表面に不透水性土壌層の敷設 ※敷設までの間は一日の作業終了時に遮水シートによる被覆	■	<input type="checkbox"/>	
7 浸出液による公共用水域・地下水汚染防止措置			
（設備関係） - 遮水工 - 保有水等集排水設備 - 浸出液処理設備 - 地表水流入防止の開渠	■	<input type="checkbox"/>	
（放流水関係） - 水質基準への適合 - 水質検査の実施	■	<input type="checkbox"/>	
（地下水関係） - 水質検査の実施 - 水質悪化時の原因調査・必要な措置	■	<input type="checkbox"/>	
8 埋立量等の記録・埋立位置図の作成 （最終処分場の廃止まで保存）	■	<input type="checkbox"/>	
9 一日の埋立作業終了時の措置 - 放射線障害防止（覆土等）	■	<input type="checkbox"/>	
10 埋立処分終了時の措置 - 開口部の閉鎖（厚さ 50cm 以上の最終覆土等） - 不透水性土壌層の流出防止（最終覆土の表面勾配による雨水排水等）	■	<input type="checkbox"/>	

特定廃棄物埋立処分施設の状況確認の実施結果

(2) 最終処分基準省令に基づく構造基準・維持管理基準

調査事項	要求事項		特記事項
	無	有	
・地滑り防止工又は沈下防止工の設置	■	□	
・埋立物流出防止のための擁壁、えん堤等の設置	■	□	
・浸出液の水量及び水質を調整する調整池の設置	■	□	
・火災発生の防止、消火設備の具備	■	□	
・擁壁、えん堤等の定期的な点検、損壊防止措置	■	□	
・遮水工が損傷するおそれがある場合、表面を砂等で被覆	■	□	
・遮水工の定期的な点検、遮水効果低下時の速やかな回復措置	■	□	
・浸出液処理設備の機能点検、異状時の必要な措置	■	□	
・導水管等の防凍措置の定期的な点検、異状時の必要な措置	□	■	浸出水処理施設の処理水配管について、防凍措置の保温材が劣化していたため、環境省に対して速やかな補修と適切な維持管理を求めた。
・開渠等の機能維持、堆積土砂等の除去	■	□	
・通気装置設置による埋立地発生ガスの排除	■	□	
・残余の埋立容量測定・記録→1回/年以上	■	□	

3 調査時の様子

	
<p>埋立地上流側 異常なし。生活ごみ（不燃物）を埋立中。</p>	<p>埋立地下流側 異常なし。最終覆土施工中。</p>
	
<p>廃棄物詰替施設 異常なし。廃棄物詰替の準備作業中。</p>	<p>浸出水処理施設 処理水配管の保温材の劣化を確認。</p>